



19 嘉都第33号
平成19年 5月 7日

国土交通省道路局長 殿

嘉麻市長 松岡 賛
(都市計画課)



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について (回答)

標記の件について、別紙のとおり提出いたします。

今後の道路政策や道路の整備・管理について

本市には、一般国道 211 号、322 号の 2 本の国道が骨格を形成し、3 本の主要地方道が国道を補足しています。さらに一般県道・市道が市内外の主要都市を結んでいます。

道路、公共交通の広域的な整備は、地域の活性化にとって最も根幹となる基盤です。

今後は、市内外の交通アクセスを向上させ、均衡ある発展を目指した計画的な整備が必要となっていきます。中でも、本市の骨格をなす地域間幹線道路である国道 211 号の交差点改良（右折レーンの設置等）、歩道設置、国道 322 号バイパス及び八丁峠トンネルの早期完成を目指すとともに、国道 322 号山田バイパスから八丁峠トンネルまでアクセスする新道を建設し、高速道路へのネットワークを構築する事で北部九州を經由する交通や自動車産業をはじめとする北九州・筑豊地域の産業関連交通が誘導され、地域の活性化が図れるものと予想されます。また、本市内の県道について道路形態が狭小で大部分の区間で歩道が設置されておらず、市民生活の安全性を図るためにも、また渋滞を緩和し福岡・北九州都市圏へのスムーズな交通の流れを確保するために早期改良整備が必要であり、生活道路については安全を確保するための整備（交通弱者に配慮した交通安全施設及び歩道設置）が必要であると考えます。なお、将来的にも維持管理にコストがかからない耐久性のある舗装の技術開発等が望まれます。